



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社東京自動機械製作所 上場取引所 東
 コード番号 6360 URL <https://www.tam-tokyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 康公
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括 (氏名) 八束 敏浩 (TEL) (03)3866-7171
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期 | 9,692 | △24.8 | 669 | △57.2 | 865 | △49.7 | 808 | △33.9 |
| 2025年3月期 | 12,890 | △4.2 | 1,564 | 12.7 | 1,721 | 11.3 | 1,222 | 9.5 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2026年3月期 | 576.01 | — | 8.2 | 5.2 | 6.9 |
| 2025年3月期 | 871.48 | — | 14.0 | 10.6 | 12.1 |

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 18百万円 2025年3月期 54百万円

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期 | 17,425 | 10,161 | 58.3 | 7,240.61 |
| 2025年3月期 | 15,855 | 9,439 | 59.5 | 6,724.78 |

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,161百万円 2025年3月期 9,439百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2026年3月期 | 2,280 | △35 | △438 | 5,335 |
| 2025年3月期 | 1,013 | △109 | △186 | 3,529 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2025年3月期 | — | — | — | 240.00 | 240.00 | 345 | 27.5 | 3.8 |
| 2026年3月期 | — | — | — | 160.00 | 160.00 | 229 | 27.8 | 2.3 |
| 2027年3月期(予想) | — | — | — | 100.00 | 100.00 | | 30.5 | |

3. 2027年3月期の業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| 通 期 | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----|--------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| | 10,000 | 3.2 | 500 | △25.3 | 670 | △22.6 | 460 | △43.1 | 328.00 |

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年3月期 | 1,452,000株 | 2025年3月期 | 1,452,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期 | 48,538株 | 2025年3月期 | 48,308株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2026年3月期 | 1,403,551株 | 2025年3月期 | 1,402,589株 |

※ 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（BBT）にかかる信託口が保有する当社株式がそれぞれ33,825株含まれております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 貸借対照表 | 5 |
| (2) 損益計算書 | 8 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (重要な会計方針) | 14 |
| (セグメント情報等) | 17 |
| (持分法損益等) | 18 |
| (1株当たり情報) | 19 |
| (重要な後発事象) | 19 |
| 4. その他 | 20 |
| (1) 役員の異動 | 20 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大、設備投資意欲の継続などを背景に、緩やかな回復基調が続きました。一方で、中東情勢などの地政学リスクや米国の通商政策の動向など外部環境の不確実性から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当社は全社を挙げて業績の確保に努めましたが、生産機械事業における大型プロジェクトの売上減少が大きく影響し、当事業年度における業績は、売上高96億9千2百万円（前年同期128億9千万円、24.8%減）となりました。

利益面では、減収の影響から、営業利益6億6千9百万円（前年同期15億6千4百万円、57.2%減）、経常利益8億6千5百万円（前年同期17億2千1百万円、49.7%減）、当期純利益8億8百万円（前年同期12億2千2百万円、33.9%減）となりました。なお、当期純利益には政策保有株式の一部売却に伴う利益が含まれておりません。

各セグメント別の業績は次のとおりであります。

包装機械事業におきましては、競合他社との価格競争などによる厳しい事業環境ながら、菓子食品業界を中心に継続する自動化などの需要を取り込み、売上高は65億4千1百万円（前年同期57億8千5百万円、13.1%増）となりました。セグメント利益は、増収効果に加え、効率化と価格転嫁により原価率が改善し4億7百万円（前年同期4百万円、8,658.8%増）となりました。

生産機械事業におきましては、海外特定顧客向け大型プロジェクトの需要が近年の水準から落ち着き、売上高31億5千1百万円（前年同期71億5百万円、55.6%減）となりました。セグメント利益8億8千万円（前年同期22億5千8百万円、61.0%減）となりました。

また、共通費は6億1千8百万円（前年同期6億9千8百万円、11.5%減）となりました。

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業費用 | 営業利益 |
|------|-------|-------|------|
| 包装機械 | 6,541 | 6,134 | 407 |
| 生産機械 | 3,151 | 2,271 | 880 |
| 共通費 | — | 618 | △618 |
| 合計 | 9,692 | 9,023 | 669 |

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて10.0%増加し、108億4千万円となりました。これは、契約資産が5億7千7百万円、未収消費税等が3億3千5百万円それぞれ減少したのに対し、現金及び預金が18億6百万円、商品及び製品が1億1千3百万円、前払費用が1億4千9百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて9.7%増加し、65億7千8百万円となりました。これは、有形固定資産が1億1千8百万円、投資有価証券が4億1百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて9.9%増加し、174億2千5百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて16.8%増加し、47億9千8百万円となりました。これは、電子記録債務が6億1千8百万円、未払法人税等が3億5千3百万円それぞれ減少したのに対し、買掛金が4億8千6百万円、前受金が12億2千8百万円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて6.8%増加し、24億6千5百万円となりました。これは、長期借入金が6千7百万円減少したのに対し、繰延税金負債が1億7千2百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて13.2%増加し、72億6千3百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて7.7%増加し、101億6千1百万円となりました。これは、繰越利益剰余金が4億6千3百万円、その他有価証券評価差額金が2億5千9百万円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて18億6百万円増加し、53億3千5百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は、22億8千万円（前年同期比124.9%増）となりました。これは主に投資有価証券売却益2億3千8百万円による減少と、税引前当期純利益11億4百万円や前受金の増加などによる増加の結果であり、前年同期に比べて12億6千6百万円の資金の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3千5百万円（前年同期比68.0%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1億9千9百万円による減少と、投資有価証券の売却による収入3億2百万円の増加などによる増加の結果であり、前年同期に比べて7千4百万円の資金の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、4億3千8百万円（前年同期比135.5%増）となりました。これは主に配当金の支払3億4千3百万円による減少の結果であり、前年同期に比べて2億5千2百万円の資金の減少となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済は雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移することが期待される一方、物価動向や金融資本市場の変動、地政学リスクの影響などから、先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれます。

包装機械事業におきましては、引き続き菓子食品業界を中心に省人化への設備投資意欲は旺盛であり、変化する市場要求を的確に捉えた積極的な技術開発投資などにより重点事業分野を中心に売上高を拡大させ、適正な価格転嫁や生産性の向上などにより利益確保に継続して努めてまいります。

生産機械事業におきましては、大型プロジェクトを中心とした特定顧客の設備投資計画に強く影響されますが、売上は当期と同水準を見込んでおります。

このような状況から、当社の2027年3月期通期業績見通しは、売上高100億円（前年同期比3.2%増）、営業利益5億円（前年同期比25.3%減）、経常利益6億7千万円（前年同期比22.6%減）、当期純利益4億6千万円（前年同期比43.1%減）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

将来の発展と事業体質強化のため必要な投資原資を確保するとともに、業績及び経営の状況を踏まえ継続的に配当を実施することを利益還元の基本方針とし、1株当たりの配当額につきましては、配当性向30%を目安としております。また、内部留保金につきましては、将来の事業強化に必要な新製品開発、業務効率化投資、生産設備投資等に充当しております。

当期の期末配当金につきましては、同方針に基づき1株につき160円を予定しております。

来期以降もこの基本方針を堅持し、2027年3月期につきましては、1株につき100円（期末100円）の配当を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年3月31日) | 当事業年度 (2026年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,684,314 | 5,490,800 |
| 受取手形 | 28,463 | 7,251 |
| 電子記録債権 | 681,097 | 301,526 |
| 売掛金 | 1,854,436 | 2,079,601 |
| 契約資産 | 744,313 | 167,244 |
| 商品及び製品 | 601,342 | 714,584 |
| 仕掛品 | 1,602,171 | 1,562,740 |
| 原材料及び貯蔵品 | 18,320 | 18,866 |
| 前渡金 | 222,352 | 233,628 |
| 前払費用 | 62,074 | 211,186 |
| 未収消費税等 | 335,559 | — |
| その他 | 80,568 | 114,159 |
| 貸倒引当金 | △54,873 | △54,448 |
| 流動資産合計 | 9,860,141 | 10,847,143 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 1,884,292 | 1,935,140 |
| 減価償却累計額 | △1,587,116 | △1,617,336 |
| 建物(純額) | 297,175 | 317,803 |
| 構築物 | 228,834 | 229,645 |
| 減価償却累計額 | △220,241 | △221,119 |
| 構築物(純額) | 8,593 | 8,525 |
| 機械及び装置 | 1,415,417 | 1,407,532 |
| 減価償却累計額 | △1,371,173 | △1,371,762 |
| 機械及び装置(純額) | 44,244 | 35,769 |
| 車両運搬具 | 8,479 | 9,086 |
| 減価償却累計額 | △8,479 | △7,836 |
| 車両運搬具(純額) | 0 | 1,250 |
| 工具、器具及び備品 | 259,160 | 265,530 |
| 減価償却累計額 | △224,954 | △236,913 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 34,206 | 28,616 |
| 土地 | 1,512,578 | 1,512,578 |
| リース資産 | 378,006 | 361,936 |
| 減価償却累計額 | △190,049 | △177,449 |
| リース資産(純額) | 187,956 | 184,487 |
| 建設仮勘定 | — | 113,740 |
| 有形固定資産合計 | 2,084,755 | 2,202,771 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 17,320 | 17,320 |
| ソフトウェア | 9,233 | 4,970 |
| リース資産 | 5,996 | 10,949 |
| 電話加入権 | 107 | 107 |
| その他 | — | 462 |
| 無形固定資産合計 | 32,657 | 33,809 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年3月31日) | 当事業年度 (2026年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,891,296 | 3,293,079 |
| 関係会社株式 | 14,093 | 14,093 |
| 関係会社長期貸付金 | 100,000 | 100,000 |
| 長期前払費用 | 53,003 | 59,168 |
| 保険積立金 | 871,686 | 927,211 |
| 差入保証金 | 44,894 | 44,848 |
| その他 | 3,515 | 3,571 |
| 貸倒引当金 | △100,095 | △100,151 |
| 投資その他の資産合計 | 3,878,394 | 4,341,821 |
| 固定資産合計 | 5,995,807 | 6,578,403 |
| 資産合計 | 15,855,948 | 17,425,546 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 電子記録債務 | 618,305 | — |
| 買掛金 | 437,570 | 923,746 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 79,550 | 110,800 |
| リース債務 | 44,048 | 46,034 |
| 未払金 | 141,129 | 160,957 |
| 未払費用 | 120,395 | 102,887 |
| 未払法人税等 | 373,674 | 19,851 |
| 未払消費税等 | — | 43,010 |
| 前受金 | 1,598,988 | 2,827,932 |
| 預り金 | 32,982 | 35,513 |
| 賞与引当金 | 581,000 | 437,580 |
| 品質保証引当金 | 80,154 | 90,164 |
| 流動負債合計 | 4,107,799 | 4,798,478 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 807,600 | 740,550 |
| 長期未払金 | 7,200 | 7,200 |
| リース債務 | 138,132 | 140,407 |
| 長期預り保証金 | 95,971 | 96,123 |
| 退職給付引当金 | 1,070,314 | 1,102,875 |
| 役員株式給付引当金 | 43,886 | 52,679 |
| 繰延税金負債 | 138,893 | 311,488 |
| その他 | 6,623 | 13,821 |
| 固定負債合計 | 2,308,622 | 2,465,144 |
| 負債合計 | 6,416,422 | 7,263,622 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2025年3月31日) | 当事業年度 (2026年3月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 954,000 | 954,000 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 456,280 | 456,280 |
| 資本剰余金合計 | 456,280 | 456,280 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 238,500 | 238,500 |
| その他利益剰余金 | | |
| 別途積立金 | 500,000 | 500,000 |
| 繰越利益剰余金 | 5,768,062 | 6,231,518 |
| 利益剰余金合計 | 6,506,562 | 6,970,018 |
| 自己株式 | △83,359 | △84,160 |
| 株主資本合計 | 7,833,483 | 8,296,138 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,606,042 | 1,865,784 |
| 評価・換算差額等合計 | 1,606,042 | 1,865,784 |
| 純資産合計 | 9,439,525 | 10,161,923 |
| 負債純資産合計 | 15,855,948 | 17,425,546 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 製品売上高 | 11,343,352 | 8,088,081 |
| 商品売上高 | 1,546,751 | 1,604,911 |
| 売上高合計 | 12,890,103 | 9,692,993 |
| 売上原価 | | |
| 製品期首棚卸高 | 497,692 | 464,661 |
| 当期製品製造原価 | 7,929,582 | 5,962,421 |
| 合計 | 8,427,274 | 6,427,083 |
| 製品期末棚卸高 | 464,661 | 655,989 |
| 製品売上原価 | 7,962,613 | 5,771,093 |
| 商品期首棚卸高 | 220,091 | 136,680 |
| 当期商品仕入高 | 1,118,475 | 1,122,156 |
| 合計 | 1,338,566 | 1,258,837 |
| 商品期末棚卸高 | 136,680 | 58,594 |
| 商品売上原価 | 1,201,886 | 1,200,243 |
| 売上原価合計 | 9,164,499 | 6,971,337 |
| 売上総利益 | 3,725,604 | 2,721,656 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料 | 676,409 | 697,834 |
| 賞与 | 53,703 | 57,042 |
| 賞与引当金繰入額 | 222,509 | 168,270 |
| 退職給付費用 | 44,502 | 46,590 |
| 役員株式給付引当金繰入額 | 7,017 | 7,259 |
| 福利厚生費 | 158,432 | 154,524 |
| 荷造運搬費 | 6,769 | 5,256 |
| 広告宣伝費 | 96,387 | 100,383 |
| 旅費及び交通費 | 120,560 | 125,442 |
| 支払手数料 | 87,155 | 91,914 |
| 賃借料 | 49,614 | 51,034 |
| 貸倒引当金繰入額 | 1,228 | △425 |
| 減価償却費 | 29,031 | 26,048 |
| 研究開発費 | 138,991 | 144,719 |
| 納入試験費 | 264,380 | 232,302 |
| その他 | 203,960 | 144,241 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,160,655 | 2,052,438 |
| 営業利益 | 1,564,948 | 669,217 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 705 | 3,243 |
| 受取配当金 | 72,787 | 92,689 |
| 受取賃貸料 | 172,799 | 175,810 |
| 雑収入 | 18,788 | 15,617 |
| 営業外収益合計 | 265,080 | 287,360 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,474 | 14,966 |
| 不動産賃貸費用 | 78,261 | 68,237 |
| 雑支出 | 20,015 | 7,440 |
| 営業外費用合計 | 108,751 | 90,645 |
| 経常利益 | 1,721,277 | 865,932 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 238,735 |
| 特別利益合計 | — | 238,735 |
| 税引前当期純利益 | 1,721,277 | 1,104,668 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 564,198 | 245,168 |
| 法人税等調整額 | △65,249 | 51,039 |
| 法人税等合計 | 498,949 | 296,207 |
| 当期純利益 | 1,222,328 | 808,460 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | 利益剰余金合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | | |
| | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 954,000 | 456,280 | 456,280 | 238,500 | 500,000 | 4,718,248 | 5,456,748 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △172,514 | △172,514 |
| 当期純利益 | | | | | | 1,222,328 | 1,222,328 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | |
| 自己株式の処分 | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | 1,049,813 | 1,049,813 |
| 当期末残高 | 954,000 | 456,280 | 456,280 | 238,500 | 500,000 | 5,768,062 | 6,506,562 |

(単位：千円)

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|-----------|------------------|----------------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算差額 等合計 | |
| 当期首残高 | △89,500 | 6,777,529 | 1,297,021 | 1,297,021 | 8,074,550 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △172,514 | | | △172,514 |
| 当期純利益 | | 1,222,328 | | | 1,222,328 |
| 自己株式の取得 | △302 | △302 | | | △302 |
| 自己株式の処分 | 6,442 | 6,442 | | | 6,442 |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | 309,021 | 309,021 | 309,021 |
| 当期変動額合計 | 6,140 | 1,055,954 | 309,021 | 309,021 | 1,364,975 |
| 当期末残高 | △83,359 | 7,833,483 | 1,606,042 | 1,606,042 | 9,439,525 |

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | 利益剰余金合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | 繰越利益剰余金 | |
| | | | | | 別途積立金 | 繰越利益剰余金 | |
| 当期首残高 | 954,000 | 456,280 | 456,280 | 238,500 | 500,000 | 5,768,062 | 6,506,562 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △345,004 | △345,004 |
| 当期純利益 | | | | | | 808,460 | 808,460 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | |
| 自己株式の処分 | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | — | 463,456 | 463,456 |
| 当期末残高 | 954,000 | 456,280 | 456,280 | 238,500 | 500,000 | 6,231,518 | 6,970,018 |

(単位：千円)

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|-----------|------------------|----------------|------------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算差額 等合計 | |
| 当期首残高 | △83,359 | 7,833,483 | 1,606,042 | 1,606,042 | 9,439,525 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △345,004 | | | △345,004 |
| 当期純利益 | | 808,460 | | | 808,460 |
| 自己株式の取得 | △801 | △801 | | | △801 |
| 自己株式の処分 | | | | | |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | 259,742 | 259,742 | 259,742 |
| 当期変動額合計 | △801 | 462,654 | 259,742 | 259,742 | 722,397 |
| 当期末残高 | △84,160 | 8,296,138 | 1,865,784 | 1,865,784 | 10,161,923 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 1,721,277 | 1,104,668 |
| 減価償却費 | 109,013 | 110,799 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 1,117 | △369 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 51,016 | △143,420 |
| 品質保証引当金の増減額(△は減少) | 21,994 | 10,010 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 65,889 | 32,560 |
| 役員株式給付引当金の増減額(△は減少) | 575 | 8,792 |
| 受取利息及び受取配当金 | △73,492 | △95,932 |
| 支払利息 | 10,474 | 14,966 |
| 為替差損益(△は益) | 40 | △130 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △238,735 |
| その他の損益(△は益) | △3,043 | △2,475 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 1,075,307 | 752,685 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △83,038 | △74,990 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,268,835 | △131,633 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 218,239 | 335,559 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | — | 43,010 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | 807,602 | △11,276 |
| その他の資産の増減額(△は増加) | △31,690 | △114,302 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △1,224,577 | 1,228,943 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 7,527 | △17,466 |
| 預り金の増減額(△は減少) | △385 | 821 |
| 預り保証金の増減額(△は減少) | 503 | 152 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | △52,101 | 24,891 |
| その他 | 6,442 | — |
| 小計 | 1,359,858 | 2,837,126 |
| 利息及び配当金の受取額 | 73,492 | 95,932 |
| 利息の支払額 | △10,743 | △15,064 |
| 法人税等の支払額 | △408,844 | △637,907 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,013,762 | 2,280,087 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △51,223 | △199,176 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 90 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,016 | △1,332 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △3,013 | △83,920 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 302,170 |
| 保険積立金の積立による支出 | △54,826 | △53,549 |
| その他の支出 | △71 | △273 |
| その他の収入 | 1,145 | 910 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △109,915 | △35,170 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 750,000 | 50,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △699,000 | △85,800 |
| リース債務の返済による支出 | △64,709 | △58,666 |
| 自己株式の取得による支出 | △302 | △801 |
| 配当金の支払額 | △172,216 | △343,293 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △186,228 | △438,561 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △40 | 130 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 717,578 | 1,806,486 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,811,736 | 3,529,314 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,529,314 | 5,335,800 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

1 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

(2) その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

主として移動平均法による原価法

2 デリバティブ取引により生じる正味の債権 (及び債務) の評価基準及び評価方法

時価法

3 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有する棚卸資産

(1) 商品・製品・仕掛品

先入先出法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

(2) 原材料

移動平均法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

(3) 貯蔵品

最終仕入原価法

4 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 (リース資産を除く)

当社は、建物並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法、その他の有形固定資産については定率法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 15~50年

機械及び装置 12年

(2) 無形固定資産 (リース資産を除く)

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5年) に基づく定額法を採用しております。

(3) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

5 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

期末現在に有する売上債権等の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

(3) 品質保証引当金

製品売上計上後、当該製品の品質水準向上を求める顧客の要請に応じて発生する運転調整費用等の追加原価の支払に備えて、過去の実績率等に基づき算出した発生見積額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異の費用処理方法

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

(5) 役員株式給付引当金

役員株式給付規程に基づく当社の取締役及び執行役員への当社株式の交付に備えるため、当事業年度末における株式給付債務の見込額を計上しております。

7 収益及び費用の計上基準

(1) 包装機械部門

包装機械部門においては、主に各種上包機・製袋充填機・箱詰機・各種ラインシステム・各種圧縮梱包機・たばこ関連機械等の製造販売を行っております。このような製品及び商品の販売については、顧客が検収した時点で収益を認識しております。

(2) 生産機械部門

生産機械部門においては、主に各種生産ライン・組立機械・各種検査装置等の製造販売を行っております。このような製品及び商品の販売については、顧客が検収した時点で収益を認識しております。また、特定顧客の生産ラインの製造販売に関しては長期の工事契約を締結しているものがあります。当該契約については、一定の期間にわたり履行義務が充足されると判断し、履行義務の充足に係る進捗度に基づき収益を認識しております。進捗度の測定は、各報告期間の末日までに発生した実際原価が、見積原価総額に占める割合に基づいて行っております。

8 ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

原則として繰延ヘッジ処理によっております。

なお、振当処理の要件を満たしている為替予約については振当処理によっております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ会計を適用したヘッジ手段とヘッジ対象は以下のとおりであります。

(ヘッジ手段) 為替予約

(ヘッジ対象) 外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引

(3) ヘッジ方針

外貨建取引等の為替相場の変動リスクを回避する目的で為替予約取引を行っております。

(4) ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務及び外貨建予定取引とヘッジの手段とした為替予約取引は、重要な条件が同一ですので、有効性判定を省略しております。

9 キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、社内業績管理単位である製品別の事業部門を基礎とし、経済的特徴・製品の内容等が類似しているセグメントを集約した「包装機械」及び「生産機械」の2つを報告セグメントとしております。

「包装機械」は、各種上包機・製袋充填機・箱詰機・各種ラインシステム・各種圧縮梱包機・たばこ関連機械等の製造販売をしております。「生産機械」は、各種生産ライン・組立機械・各種検査装置等の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

| | 包装機械 | 生産機械 | 合計 | 調整額 (注)1・2 | 財務諸表計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-----------|------------|---------------|-----------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,785,048 | 7,105,055 | 12,890,103 | — | 12,890,103 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,785,048 | 7,105,055 | 12,890,103 | — | 12,890,103 |
| セグメント利益 | 4,650 | 2,258,966 | 2,263,616 | △698,668 | 1,564,948 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 25,404 | 42,594 | 67,998 | 29,031 | 97,030 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△698,668千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない総務部・CS部等管理部門の人件費・経費等であります。

2. 減価償却費の調整額29,031千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 資産については、事業セグメントに配分しておりません。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

| | 包装機械 | 生産機械 | 合計 | 調整額 (注)1・2 | 財務諸表計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|---------------|-----------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,541,363 | 7,105,055 | 9,692,993 | — | 9,692,993 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 6,541,363 | 7,105,055 | 9,692,993 | — | 9,692,993 |
| セグメント利益 | 407,345 | 880,086 | 1,287,431 | △618,214 | 669,217 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 44,425 | 28,367 | 72,792 | 26,048 | 98,840 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額△618,214千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない総務部・CS部等管理部門の人件費・経費等であります。
2. 減価償却費の調整額26,048千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
3. セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 資産については、事業セグメントに配分しておりません。

(持分法損益等)

1. 関連会社に関する事項

| | 前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 関連会社に対する投資の金額 | 12,693千円 | 12,693千円 |
| 持分法を適用した場合の投資の金額 | 475,885千円 | 519,928千円 |
| 持分法を適用した場合の投資利益の金額 | 54,123千円 | 18,940千円 |

2. 開示対象特別目的会社に関する事項

当社は、開示対象特別目的会社を有しておりません。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 6,724.78円 | 7,240.61円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 871.48円 | 576.01円 |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額 | －円 | －円 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。
- なお、1株当たり当期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前事業年度34,988株、当事業年度33,825株であり、1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の株式数は、前事業年度末33,825株、当事業年度末33,825株であります。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益(千円) | 1,222,328 | 808,460 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | － | － |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 1,222,328 | 808,460 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,402,589 | 1,403,551 |

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度末 (2025年3月31日) | 当事業年度末 (2026年3月31日) |
|------------------------------------|------------------------|------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 9,439,525 | 10,161,923 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | － | － |
| 普通株式に係る期末の純資産額(千円) | 9,439,525 | 10,161,923 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株) | 1,403,692 | 1,403,462 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動 (2026年6月25日付予定)

退任する取締役

社外取締役 武田 康孝

新任取締役候補

社外取締役 井上 康